

有機農業を実践している生産者が「架け橋事業」を通して「提携」に参加したいと思ったら

「架け橋事業」は「提携」を後押しする日本有機農業研究会の取り組みです

有機農業を実践している
生産は軌道に乗ってきたが、売り
先に苦労している

日本有機農業研究会が「提携」という生
産者と消費者が直接つながり互いに支
え合う方法を「架け橋事業」という取り
組みにより推し進めていることを知る

日本有機農業研究会に連絡をとる
電話 03-6265-0148
FAX. 03-6265-0149
メール info@1971joaa.org

日有研事務局から、「提携」の具体的な仕
組みや方法を教えてもらう

内容を了解、納得し、自分も提携に参加
したいと思ったら、事務局より「架け橋
事業生産者登録申請書」と「登録シート」
を送ってもらい、正確に記入の上、日有
研事務局宛に提出する。（開始年にあた
り『土と健康』2020年1・2月に登録書
類を同封。）

日有研事務局は、生産者から提出された
「登録シート」内容を入力し「農産物別
リスト」を作成する

「提携」に参加したい消費者（事業所含
む）の情報が日有研事務局に届く

事務局は「農産物別リスト」と突き合わ
せ、該当する生産者情報を消費者に提供
する

消費者は、提供された生産者情報を参考
に、生産者と連絡をとる

生産者は消費者からの問合せに応じ、互
いに提携関係を結べそうかどうかすり
合わせる。要望があれば農園訪問に対応
する。

互いに良い感触が得られれば、「お試し
セット」の提案など、まずは実際に生産
物を食べてもらう機会を作る（その際、
代金の支払いについてもきちんと約束
を交わす）

消費者の理解が得られ、生産者としても
前向きになれる実感が得られれば、「約
定書」を交わし、提携へと歩を進める。
互いに支え合う信頼関係作りは当人同
士の努力を重ねる。

または

生産者消費者双方またはどちらかの気
が進まなければ、日有研事務局に連絡
を入れ、相談する。